

禁煙推進委員会だより

「小中学校における喫煙防止教育の実際」

山口県医師会常任理事 河村 一郎

山口県医師会禁煙推進委員会では、令和2年度に20代の人を対象として小中学校での喫煙防止教育の効果について調査したところ、喫煙防止教育を受けた人は現在も吸っていない人が多いとの結果を得て、小中学校での喫煙防止教育が有効であることが示された。そこでこのたび、県内の小中学校を対象として喫煙防止教育の実際について調査を行った。

令和4年1月、県内425の学校（小学校277校、中学校148校）にアンケートを配付し、令和4年1月から3月の間に234校（小学校152

校、中学校82校）から回答を得た（表1、回答率55%）。回答者は校長20校、教頭5校、養護教諭169校、保健担当教諭24校、保健体育科教諭・主任2校、生徒指導主任6校、その他の教諭6校、不明2校であった。

喫煙防止教育を行っている学校は全体で100校あり（43%）、小学校68校（45%）、中学校32校（39%）で行われていた。市町、学校の規模による大きな差はなく、おおよそ4～5割の学校で行われている市町が多かった（図1）。年間の実施回数は1回97校、2回2校、3回1校

表1 市町別回答数

	小学校			中学校		
	発出数	回答数	回答率	発出数	回答数	回答率
下関市	43	21	49%	23	10	43%
宇部市	24	13	54%	14	8	57%
山口市	34	15	44%	19	10	53%
萩市	17	8	47%	14	6	43%
防府市	17	8	47%	12	8	67%
下松市	7	4	57%	3	2	67%
岩国市	32	21	66%	16	9	56%
光市	12	7	58%	5	5	100%
長門市	11	6	55%	5	4	80%
美祿市	11	8	73%	6	4	67%
柳井市	10	5	50%	3	2	67%
周南市	27	16	59%	14	5	36%
山陽小野田市	12	7	58%	7	6	86%
周防大島町	9	5	56%	2	1	50%
和木町	1	1	100%	1	0	0%
上関町	2	2	100%	1	0	0%
田布施町	4	3	75%	1	0	0%
平生町	2	0	0%	1	1	100%
阿武町	2	2	100%	1	1	100%
合計	277	152	55%	148	82	55%

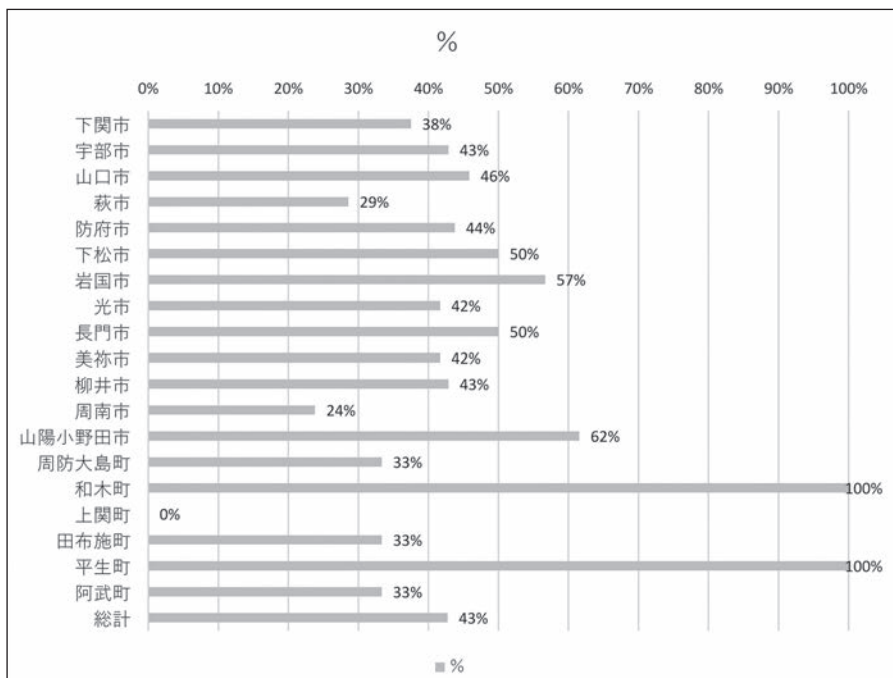


図1 市町別喫煙防止教育実施率

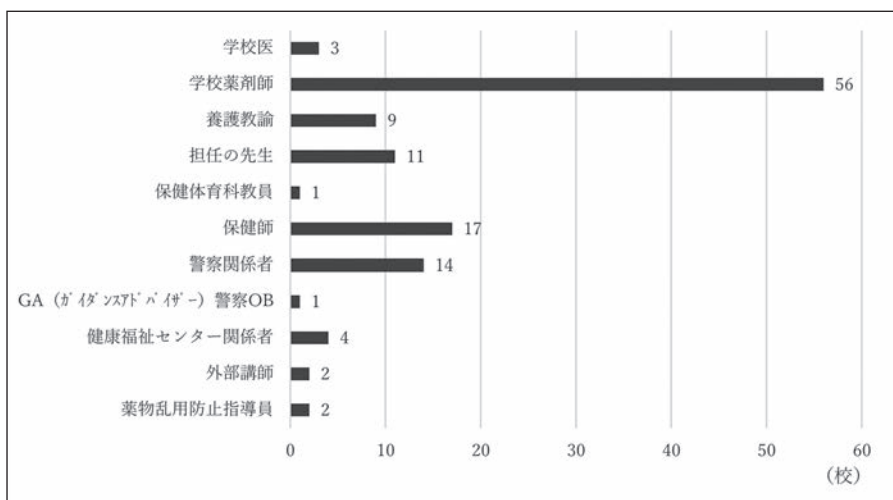


図2 喫煙防止教育の施行者 (n=100) ※複数回答有

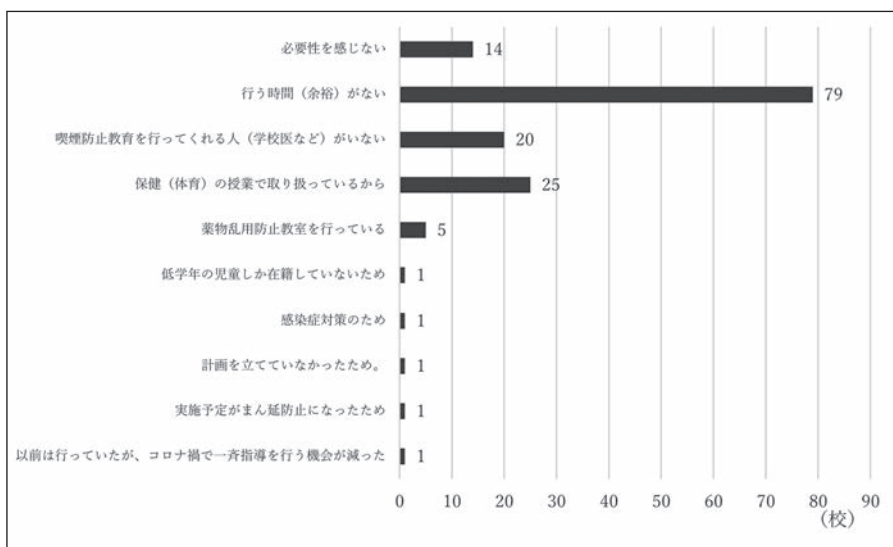


図3 行っていない理由 (n=134) ※複数回答有

であった。行っている人は学校薬剤師が最も多く56校、次いで保健師17校、警察関係者14校、担任の先生11校で、学校医は3校と少なかった(図2)。行われていない学校は134校あり(57%)、理由として最も多かったのは「行う時間(余裕)がない」79校、次いで「保健(体育)の授業で取り扱っているから」25校、「行ってくれる人がいない」20校で、「必要性を感じない」と答えたのは14校のみで(図3)、今後行う予定があるかの問いでは「行ってくれる人がいれば行いたいと思っている」が86校と圧倒的に多かった(表2)。

時間的・人的な問題で行われていない学校が多く、行ってくれる人がいれば行いたいと考えている学校が多いことがわかった。学校医が行っている学校は少なく、学校医の積極的な関わりが必要と考えられた。

終わりに、このたびのアンケート調査にご協力いただいた県内の小中学校、教育委員会の皆様に感謝申し上げます。

表2 今後の予定 (n=134) ※複数回答有

行ってくれる人(学校医など)がいれば行いたいと思っている。	86
行うつもりはない。	26
必要性があれば考えたい。	3
担任から要望があれば検討していく予定。	2
発達段階に応じて指導していく予定。	1
指導を行った方がよいという事例が発生した場合行いたいと思っている。	1
養護教諭など、教職員で指導していきたいと思う。	1
学校行事や様々な啓発指導があり、時間の確保が難しい。	1
コロナが収束したら行いたい。	1
行っていきたい。	1
時間と校内の現状とを考慮して決めていきたいと思う。	1
毎年行うことにしている。薬物乱用教育と一緒にやっている。	1
毎年警察の方に「薬物乱用防止教育」をしていただく際に喫煙についても触れていただいている。	1
実施することは良いことだが、行事が多く、実施する場合は保健の授業として実施するなど工夫が必要である。	1
保健体育の時間での指導で十分だと感じているため。	1
保健体育の授業で実施する。	1
今年度は行わない。	1
薬物乱用防止教室の中で行う方法は考えている。	1
時間が確保できれば行いたい。	1
薬物乱用防止教育と喫煙防止教育を隔年で行うことができれば良いと考えている。	1
資料送付していただき、今年度は教員が6年生に実施予定。	1
今年度は予定はないが、来年度検討していきたい。	1
今年度と同様に考えている。	1